

東九州自動車道建設に伴い町内の各地域において発掘調査が実施されています。

この調査は、鹿児島県立埋蔵文化センターによって実施されていますが、道路建設によって失われてしまう遺跡を調査し、当時の生活の様子を調べて、記録に残し、後世に伝えていくことが大きな目的です。

発掘は、くわなどを使い人の手で少しずつ掘った後、移植ごなどをを使い丁寧に掘り下げていきます。遺跡が発見された際は、地層によって年代を判別していきます。

鹿児島は、桜島などの大噴火をはじめ近隣の火山爆発により堆積された土壌がくつきり色で区分され、年代も火山爆発年代から特定しやすい地域なのだそうです。

現在までの調査では、昨年、野方の天神段遺跡で、西日本最古の石剣が発見されました。

# おおさき

## 歴史年表

### 古代人からのメッセージ

【室町】

1357年	1470年	1554年と
1359年	1540年	1556年
胡摩ヶ崎（仮宿）に拠った楡井頼重敗死	肝付兼光 大崎城築城（天子ヶ丘） 蓬原城（有明町）落城。金丸城（西井俣）も落城	妻萬神社 有明町原田から移る 戦ヶ島（益丸）の戦い



▲横瀬古墳



新燃岳噴火・東日本大震災

野方村合併

桜島大噴火（昭和噴火）罹災者桜野に移動

大崎町制施行

罹災者角堂・東川・中沖に移住 桜島大噴火（大正大噴火）

大崎村と野方村分村

西南の役 倉元と城内・上町で激戦

【江戸】

1689年	1824年
1779年	
野方荒佐野に伊勢神社（現照日神社）創建	大崎名勝誌のへんさん 大崎大噴火（安永大噴火） 安永大噴火の罹災者中沖千間堀に移住

比志島美濃守馬場に新たに大崎城をつくる 肝付氏・島津氏に降伏

天神段遺跡（塗木）多数の中国陶器や石鍋・鏡が副葬された墓や建物がつくられる

このころ胡摩ヶ崎城（仮宿下）野卸城（崎園）龍相城（後迫）が築かれる 平李基が都城周辺を開拓し、日本最大の荘円島津荘をつくる

飯隈山熊野三社権現開山

横瀬古墳 神領古墳（盾持人埴輪） 飯隈古墳群・田中古墳がつくられる

▼盾持人埴輪（神領古墳）

